

嶺町北町会 平成29年度第二回 防災訓練計画(案)

平成29年 10月21日 嶺町北町会

役員会、理事会配布：c/c 嶺町特別出張所&田園調布消防署

1 日時場所	10月21日(土) 9:20~12:00、御嶽神社境内
2 訓練概要	現実起こり得る災害を想定した訓練、名づけて【発災対応型訓練】
3 実地訓練項目	○煙体験 ○消火器操作 ○救出体験 ○スタンドパイプ放水
4 訓練内容告知	●「訓練順序」「防火防災功労賞」等をホワイトボードに記入および転載
5 展示	●可搬ポンプ積載車(以下 ポンプ積載車) ●富田家の非常持出品
6 訓練感想	今回も前回同様 アンケートを行う
7 訓練詳細	() の時間は目安です

前提 ◎ 10月21日 xx時yy分 都下zz区でM7級の地震が発生

訓練の連絡
 ① 予め 訓練概要を盛り込んだ「回覧」を作成し、理事会で確認後、会員に案内。
 ② 予め 防災訓練の立て看板、ポスターを町内に設置する。
 ③ 訓練当日 9:20に防災行政無線で「嶺町北町会 防災訓練を行います」を放送。

会員集合 (9:20~9:45)
 ① 防災行政無線により、参加者各位は“かにくぼ公園”または“御嶽神社境内”に集合する。
 ② “かにくぼ公園”の「情報班」は御嶽神社境内「情報班」と連絡し合い、公園「誘導班」により神社境内に移動する。①②共に車イスでの避難も行うこと

受付 (9:20~10:00)
 ① 「受付班」は神社境内にて名簿記入を依頼する。名簿は町会作成済のもの
 ② 参加者にアンケートを依頼する。同日回収する。
 ③ ポンプ積載車に試乗希望の子供達に防護服(4着)を貸し出す。

訓練開始(10:00) ○「統括」は訓練開始を宣言する。

煙体験 (10:00~10:30) ○参加者が体験する。
 ・煙装置は出張所で準備・指導頂く

消火訓練 (10:00~10:30) ○参加者が体験する。
 ・消火器による消火…消火器、火点は消防署に準備・指導頂く

救出訓練 (10:30~11:00) ○参加者が見学・希望者は体験する。
 ・建屋を崩壊させ、「援護者班」がダミー人形を助け出し担架で安全場所に搬送する

延焼阻止訓練 (11:00~11:30) ○参加者が見学・希望者は体験する。
 ・スタンドパイプにより消火する。消防署・消防団・会員

ポンプ積載車撮影 ・訓練後 展示してあるポンプ積載車に子供達が試乗する

統括者に報告 ○「各班」は自部門の進行状況などを富田統括に報告のこと

講評 ○訓練終了後 訓練状況等について出張所、消防署、消防団より講評を頂く

散会 ○訓練終了後 クラッカー、調理したアルファー米をお持ち帰り頂く

8 役割と配置人員

準備

・嶺町特別出張所防災、消防署防災との連携…9月中旬

富田会長、

・回覧文書の作成…9月中

・配置人員および名簿の決定…10月上旬

役員会と理事会

・立て看板、ポスター設置…10月上旬

・アンケート結果 …後日、役員会・理事会にて発表

訓練当日

・参加者に寄り添った言動・行動を心がけたい。

・下記 各班は**8:30**までに会館に集合され、準備、打合せをお願いします。

腕章、ヘルメット着用。

◎ 班長

* トランシーバー携帯者

担当部門	実施内容	配置人員
統括	・訓練全般の指揮・指導	*
設備班	・スタンドパイプ等機材の準備 ・崩壊しそうな建屋の設置	◎
援護者班	・体調不良者支援 ・崩壊建屋から被災者救助	◎
情報班	・各班、統括との連絡 ・「ホワイトボード」に訓練内容を記載および地域の防火防災功労賞を張り出す	◎*
誘導班	・“かにくぼ公園”から境内に誘導 ・参加者を順次訓練箇所に誘導	◎ *
受付班	・境内で受けおよび ・アンケート依頼や種々貸出し	◎
炊出班	・炊出しおよび各種袋詰め	◎
相談員	・参加者の相談相手 ・アンケートのまとめ	

9 支援組織と連携

○ 嶺町特別出張所

- ① 道路使用許可
- ② 煙体験装置の手配
- ③ 防災行政無線の放送
- ④ アルファー米・クラッカーの提供
- ⑤ 防災訓練用ポスターの提供

○ 田園調布消防署

- ① スタンドパイプ放水に関わる申請
- ② 消火器取扱い指導
- ③ 子供用防災服・ダミー人形(足付)の貸し出し
- ④ 崩壊建屋の解体道具の持参・解体
- ⑤ 交通整理など(消防団)